

3. 新入職医師のご紹介

1月1日より麻酔科に新しい医師が入職いたしました。今後も、先生方・地域の患者さまのお力になれますよう努めて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



麻酔科 杉本 創医師

2020年、1月に第一東和会病院に赴任いたしました。皆さまのニーズに少しでもお応えしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4. SAS（睡眠時無呼吸症候群）外来のお知らせ

金曜日の午後、循環器内科、曾山医師にてSAS（睡眠時無呼吸症候群）外来を行っております。必要な患者さまは1泊入院でPSG検査も対応しております。疑いのある患者さまがおられましたら是非ご紹介下さい。ご予約制となっておりますので、予約、お問い合わせ等何かございましたら地域連携室へお電話下さい。よろしくお願いいたします。



5. 地域連携室より年頭のご挨拶

旧年中は大変お世話になりました。本年も地域の先生方、患者さまのご期待に添えるよう努める所存です。本年もよろしくお願いいたします。

第一東和会病院 地域連携室



第一東和会病院、第二東和会病院 地域連携室

TEL 072-671-1118 (第一)

FAX 072-671-1090 (第一)

受付時間 (第一)

平日 8:30~19:00

土曜 8:30~17:00

時間外休日

072-671-1008 (代表)

E-mail renkei@towa-med.or.jp



医療法人 東和会

第一東和会病院

All you need is love ...

発行日 2020年 1月
第5巻 第10号



医療法人 東和会

第一東和会病院

TOWA ~架け橋~

Monthly NEWS

連携診療所向け月刊情報誌

輪
わ

1. 新年のご挨拶

医療法人 東和会 第一東和会病院 理事長 大西 恭子

令和初の新年を健やかにお迎えになりましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は度重なる想定外の災害に見舞われた年でした。被災された方々の一刻も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

我が国は、少子高齢化が進み2040年には現役世代人口が急減することが予想されています。これにより今後、社会保障財源が厳しくなることが危惧され、政府は全世代型社会保障検討会議を立ち上げ、後期高齢者の窓口負担割合を一定所得以上は2割に引き上げることや、市販品類似薬の保険適応外しなどの検討を始めています。



撮影者：医局長 兼

内視鏡外科センター副部長

千野 佳秀

目次

	Page
新年のご挨拶.....	1
”.....	2
産業フェスタに出展.....	3
新入職医師のご紹介.....	4
SAS外来のお知らせ.....	4
地域連携室より 年頭のご挨拶.....	4

人生100年時代と言われる中、健康寿命が延伸できれば社会保障負担の増大に歯止めがかかるのではないかと考えます。また、医療界においては、将来を見据えた地域医療構想、医師の働き方改革、医師の偏在是正という三位一体改革が進んでおり、地域医療を守る私たちは十分に予想し対策が必要となります。



第一東和会病院

まず、地域包括ケアシステムの推進においては、かかりつけ医機能を地域で根付かせ、また厚労省が推進し名付けた「人生会議」ACP（Advance Care Planning）もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組を始めて参ります。

また、職員の働き方改革では、医療の質向上を伴い、患者満足度の向上に繋がらなければ意味がありません。そのために、第一東和会病院は地域医療支援病院として、第二東和会病院は地域包括、及び回復期の病院として、これまで以上に発展し続け、その真価を示していきたいと考えます。

今後も地域における当院の役割を再認識し、地域の皆さまが安心して安全な医療を受けることができる病院づくりに邁進し、かかりつけ医の先生方と役割を分担して、地域医療を守っていきたくて考えております。



第二東和会病院

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、
「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

基本方針

1. 私たちは患者さまの権利を尊重し、わかりやすい説明と十分な情報を提供することによって信頼関係を築き、患者さまと協力して治療を行います。
2. 地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携を深め・地域医療従事者への研修・医療機器の共同利用を積極的に推進し、地域医療に貢献します。
3. 地域の皆さまが「安全で安心して暮らせる」よう医療・介護・福祉を総合的に活用し支援します。
4. 救急医療を更に充実・強化し、地域の皆さまが24時間安心して医療が受けられる体制を整えます。
5. 職員は常に研鑽を怠らず、お互いに信頼・尊敬し合い、やりがいのある魅力的な病院を目指します。

（2020年1月変更）

2. 2019年12月7日産業フェスタに出展しました

尿漏れや腰痛に悩む産後の女性に向け、自分で症状を改善できる姿勢改善やストレッチ、骨盤底筋体操を紹介し、体験していただきました。産後は赤ちゃんを抱っこすることで骨盤を後傾したり腰椎を側弯させるなどの不良姿勢を取ることが多く、その姿勢によって腰痛や肩凝りを起こします。また特に出産時に骨盤底に大きな負担をかけることで起こる尿失禁が長く続くことがあります。

参加された皆さまは熱心に話を聴き、体験しておられました。お子さんが小さいとなかなか参加が難しいお母さんも多いと思いますが、託児所を設置したことで安心してご参加いただけました。またもっと実技の体験をしたかったとのご意見もあり、ストレッチや骨盤底筋体操の必要性を十分に感じていただけたのだと思います。

肩・胸椎のストレッチ



骨盤底筋体操

力を入れる時には「肛門を締めるように」とか「おしっこを我慢するように」などと意識をします。女性は「膣を締める」という意識でも力を入れられます。姿勢良く椅子に座っていると骨盤底筋は座面に当たっていますので、力を入れると動いている感じがします。また壁に脚を開いて座った姿勢では、骨盤底筋を触りながら行う事も可能です。骨盤底筋体操の時は骨盤底筋だけに力を入れるようにします。

骨盤底筋だけを収縮させるのは難しい場合が多いですが、当院では女性理学療法士が1対1で指導しておりますので、お困りの方がおられましたら是非ご紹介下さい。

「たかつき産業フェスタ」の様子



本年も「たかつき産業フェスタ」に出展させていただきました。多くの方々にご来場いただき、当院のブースやセミナーに、お子さんや親御さんにも関心をもっていただけたようでした。今後も地域のイベントに積極的に参加させていただき、貢献していければと思っております。